

みんなの「なんな-の?」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)



# 信毎こども記者ニュース

こども記者クラブ(信濃毎日新聞地域活動部) 〒380-8546 長野市南県町657  
TEL 026-236-3110 FAX 026-236-3193 電子メール t-chiiki@shinmai.co.jp

no.57

ソチ冬季五輪が2月23日(日本時間24日)、閉幕しました。88カ国・地域の約2900選手が参加し、17日間わたり7競技98種目で熱戦を繰り広げました。メダル獲得の快挙や、涙なくしては見られない感動の場面…。さまざまなドラマが生まれたソチ五輪での日本人選手の活躍を、写真とこども記者のみなさんが答えてくれたアンケートで振り返ります。



## ソチ五輪



渡部 峻斗選手

ノルディックスキー複合の個人ノーマルヒルで銀メダル。1998年の長野五輪に感激し、小学4年生でスキージャンプを始めました。小学校の卒業文集には「世界一になる」と書かれているそうです。



ノルディック複合団体



羽生結弦選手

・4回転ジャンプが楽しみ  
・金メダルがとれそう!

フィギュアスケート界のスーパースター、エフゲニー・プルシェンコ選手が「今は彼が私のヒーローになっている」と言ったほど、素晴らしい演技で金メダルに輝きました。

## 感動の熱戦

県勢8人が出場したスピードスケートは、男子500メートルで加藤選手が5位、長島選手が6位。女子は500メートルで小平選手が5位、高木菜那選手、菊池彩花選手が出場した団体追い抜きで4位入賞しました。



小平 幸緒選手

・長野県の選手がいっぱい出ている  
・すいすいすべって楽しそう



加藤 菜治選手



長島 幸一郎選手



女子団体追い抜き

### ジャンプ団体



・どこまで飛ぶか楽しみ  
・見ているとわくわくする

ノルディックスキー・ジャンプ男子団体で飯山市出身の竹内帆帆選手を含む日本チームが銅メダル。ジャンプ団体で日本がメダルを獲得したのは、1998年長野冬季五輪以来16年ぶり。



青西 紀明選手

ノルディックスキー・ジャンプ男子ラージヒルで銀メダル。日本の冬季五輪メダリストの最年長記録をぬりかえました。



平岡 卓選手



平野 歩夢選手

スノーボードは男女とも日本初のメダル。男子ハーフパイプ銀メダルの平野選手と銅メダルの平岡選手。平野選手は日本の冬季五輪メダリストの最年少記録をぬりかえました。女子は、パラレル大回転で竹内智香選手が銀メダルを獲得しました。

・5回目のオリンピック出場  
・長野県出身、活躍がかっこいい



上村 愛子選手

フリースタイルスキー女子モーグルで、4位入賞。メダルには届かなかったけれど、全力で滑った後のすがすがしい表情が印象的でした。また、新種目の女子ハーフパイプでは、小野塚彩那選手が銅メダルをつかみました。



浅田 真央選手

・真央ちゃんの活躍が楽しみ  
・浅田選手を応援している

ショートプログラムでミスが相次ぎまさかの16位でフリーへ。「取り返しつかないことをしてしまった」(浅田選手)後でも、気迫あふれる素晴らしい演技で自己最高点を更新し、6位入賞を果たしました。メダルはなりませんでしたが大勢の記憶に残りました。

※写真はいずれも、信濃毎日新聞社・中村桂香記者が撮影